



第24期第1四半期累計期間の業績のご報告 (2019年7月1日～2019年9月30日)

2019年 11月 吉日
日本システムバンク株式会社
代表取締役社長 野坂 信嘉

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資の穏やかな増加や雇用情勢の改善などを背景に穏やかに回復したものの、通商問題を巡る緊張の増大や原油価格の上昇が懸念されるなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

駐車場業界におきましては、慢性的な駐車場不足により都市部を中心として高い駐車場需要はあるものの、訪日外国人の増加による宿泊需要の高まりを受け、駐車場から宿泊施設への転用や土地の賃借料の高騰など、厳しい事業環境となりました。

このような状況の中、当社は、利用者に選ばれる駐車場の提供を目標に、「便利で快適な駐車場づくり」に注力致しました。

利便性向上の面では、スマートフォンでの駐車場の検索から利用料金の決済が可能なサービス「SmooPA」の普及に注力致しました。また、快適性向上の面では、コールセンターシステムを刷新し情報の活用を進め、トラブルが発生しない駐車場づくりの推進に注力致しました。

事業区分別の業績は以下のとおりです。

【コインパーキング(以下 CP)事業】

CPシステム運営事業では、積極的な営業活動を行い、新規駐車場の開設を進めました。既存駐車場においては、駐車場の需給バランスを考慮した料金設定の最適化を継続的に実施して収益力の向上に努めて参りました。その結果、同事業の第1四半期累計期間の売上高は、753,921千円(前年同期比 101%)となりました。

CPシステム販売事業では、得意先の新規駐車場の開発計画が増加傾向で推移したこと及び保守管理受託駐車場数の増加によりメンテナンス売上が伸長した結果、同事業の第1四半期累計期間の売上高は、841,409千円(前年同期比 123%)となりました。

これらの結果、同事業全体の第1四半期累計期間の売上高は、1,595,201千円(前年同期比 111%)となりました。

【プロパティマネジメント事業】

プロパティマネジメント事業は、「満室経営」を目指し、物件の稼働率の向上に努めた結果、同事業の第1四半期累計期間の売上高は 61,203千円(前年同期比 103%)となりました。

以上の結果、第1四半期累計期間の売上高は 1,658,783千円(前年同期比 111%)となりました。

事 業 区 別	金額	前年同期比
コインパーキング事業	1,595,201 千円	111%
プロパティマネジメント事業	61,203 千円	103%
その他	2,378 千円	123%
計	1,658,783 千円	111%